

# DXの取り組みについて

---

R4.3.22

令和3年度第2回 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議

市長戦略部 DX推進課

## 1: DX(デジタルトランスフォーメーション)とは

DXとは、「進化したデジタル技術を浸透させることで、  
人々の生活をより良いものに**変革**すること」

スウェーデンのエリック・ストルターマンが提唱した**概念**

DXとICT化は違います。

ICT化はアナログの業務やインフラをICT(高度情報化)に代替えしていくことであり、主な目的は、組織や業務を効率化すること。

DXは既存のサービスや業務を根本から見直し、デジタル技術も活用してユーザーに対し、新たなサービスや価値を提供すること。

まさに**変革**すること。

**X(変革)が重要である。XできなければD(デジタル)は生かせない。**

## 2: DX推進に必要なもの

### ・体制整備

DXを推進するためには、推進体制が重要です。  
片手間では組織全体のDXを進めることはできません。



**DX推進課の設置**

### ・方針策定

何のためにDXに取り組むのかという点の再確認が必要です。  
特に「ありたい姿、あるべき姿から今を考える」思考が大切です。  
ありたい姿、あるべき姿から目指す将来像を設定し、目的を達成するための方向性を示す方針が必要です。



**DX推進計画及び  
アクションプラン策定**

### ・組織全体の意識改革が必須

組織全体(職員)が共通理解のもと、事業を推進しなければ、組織としての目標を見失ったり、士気が上がらず、やらされ仕事になってしまいます。  
特に組織のトップ含め、幹部職クラスに理解されなければ、いくら現場がやる気になっても幹部職が後ろ向きではDXは進みません。  
あくまでもデジタルは手段、まずは組織全体(職員)の意識改革が重要になります。



**職員研修の実施  
(集合・eラーニング)**

### 3: DX推進計画及びアクションプラン策定

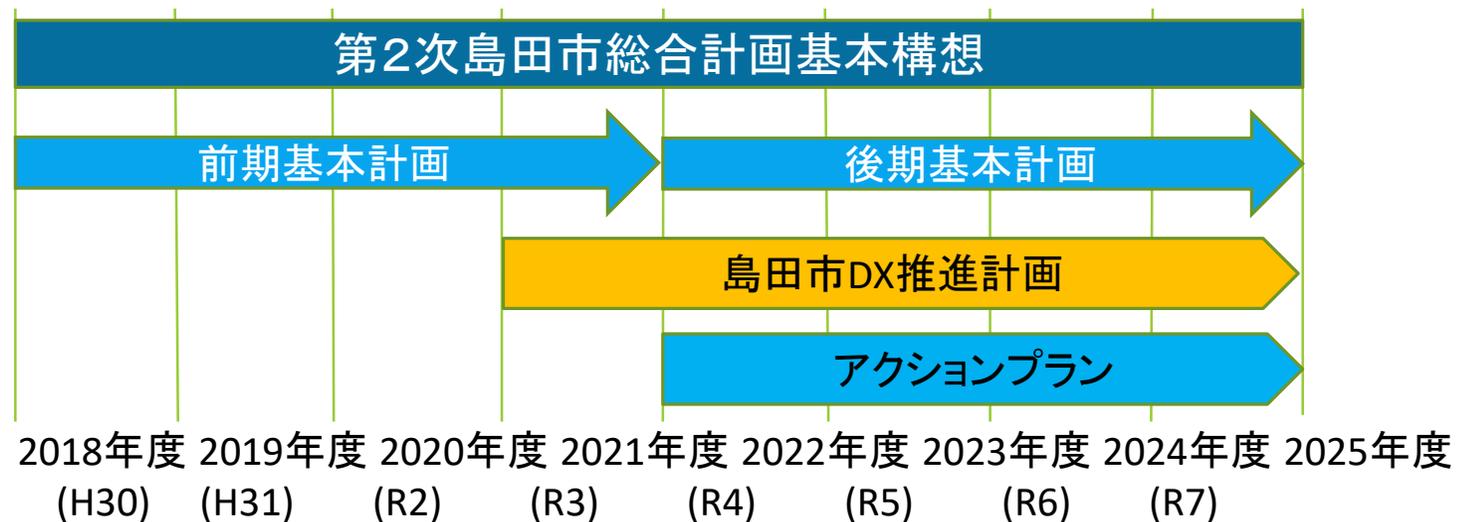
#### (1) 計画の位置付け

島田市DX推進計画は、「第2次島田市総合計画」及び「第2期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進し、市の将来像である「笑顔あふれる 安心のまち 島田」を実現させるため、各分野における政策をデジタル、情報化の観点から支援、推進するものとして位置づけるとともに、「第3次島田市総合計画」及び「第3期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも反映させるものとします。

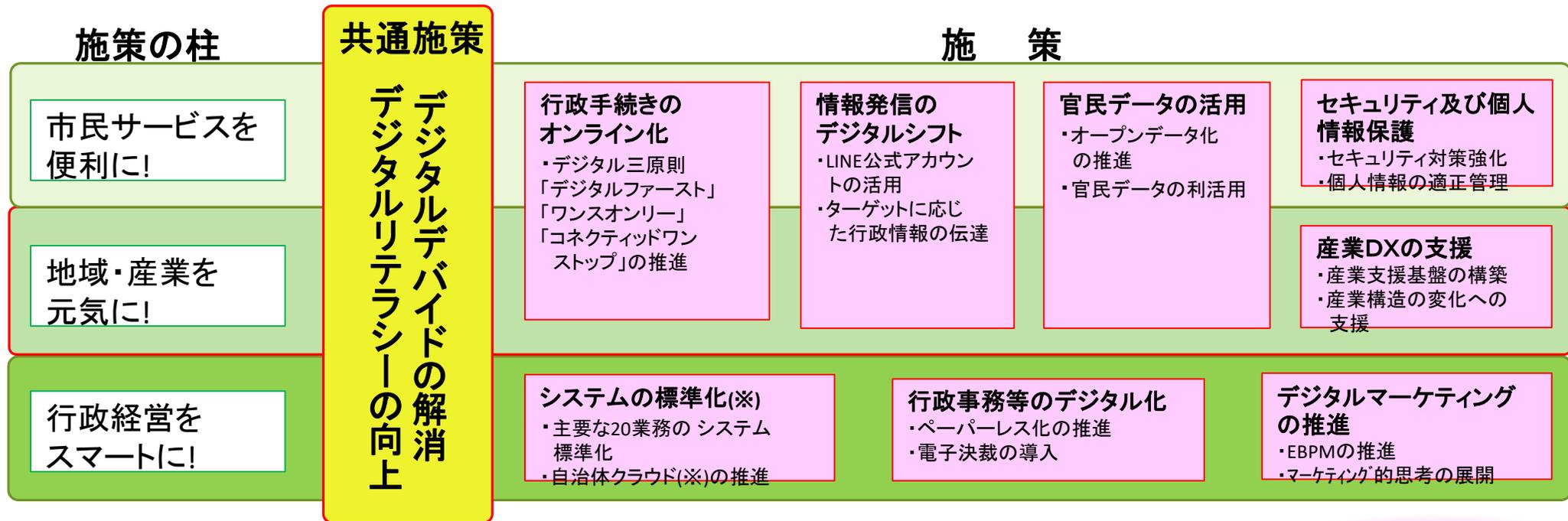
#### (2) 計画期間

計画期間は、2021年度から2025年度までの5年間とします。

計画策定後においても、国の指針変更や技術革新など社会情勢の変化を考慮し、必要に応じて計画の見直しを行います。



### 3: DX推進計画及びアクションプラン策定



市民等のサービス向上 + 行政事務の業務改善

「誰もがデジタル技術を活用し、安心して快適に暮らせる新しい社会」の実現

### 3: DX推進計画及びアクションプラン策定

※アクションプラン抜粋

#### 行政手続きのオンライン化の推進(2)

スケジュール・KPI

取組内容（個別事業）	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7
電子申請システム運用業務	押印廃止及び押印なしの行政手続き数 1,489件	システム更新	市民等のオンライン申請の割合が全体の30% アナログとオンライン両方できる申請を順次拡大	市民等のオンライン申請の割合が全体の50% アナログとオンライン両方できる申請を順次拡大	市民等のオンライン申請の割合が全体の80% 全ての申請がアナログとオンライン両方できる状態
キャッシュレス決済導入事業	未導入 未導入	システム導入	窓口申請のうちキャッシュレス決済が全体の10% ※1 納付書払いのキャッシュレス化	窓口申請のうちキャッシュレス決済が全体の20% 順次拡大	窓口申請のうちキャッシュレス決済が全体の30% 全ての窓口で支払いがキャッシュレス対応 ※2
個人番号カード交付事業	R2実績 28.1%	取得率90%	取得率100%に近づける		
証明書のコンビニ交付事業	R2実績 4.5%	コンビニ交付の割合が全体の12% ※3	コンビニ交付の割合が全体の15%	コンビニ交付の割合が全体の18%	コンビニ交付の割合が全体の21%
子育て支援プラットフォーム構築事業	構築中 母子保健分野の通知・申請・相談のデジタル化	子育て支援分野の通知・申請・相談のデジタル化 学校教育分野導入検討	登録者数 1300人	登録者数 1900人	登録者数 2500人
公共施設等案内・予約システム運用事業	R3 上半期実績	システムを利用した予約率 50% ※4	システムを利用した予約率 60%	システムを利用した予約率 65%	システムを利用した予約率 70%

※1 窓口申請とは、市民課、課税課、納税課、支所、行政サービスセンター、博物館における申請手数料や入館料

※2 全ての窓口とは、市役所各課における全ての窓口

※3 コンビニ交付の割合とは、市民課で実施している証明書のうち、コンビニで交付している証明書の割合

※4 予約率については、オンライン決済を除いたものとする

## 4: 取組事例1 デジタル活用支援員派遣事業

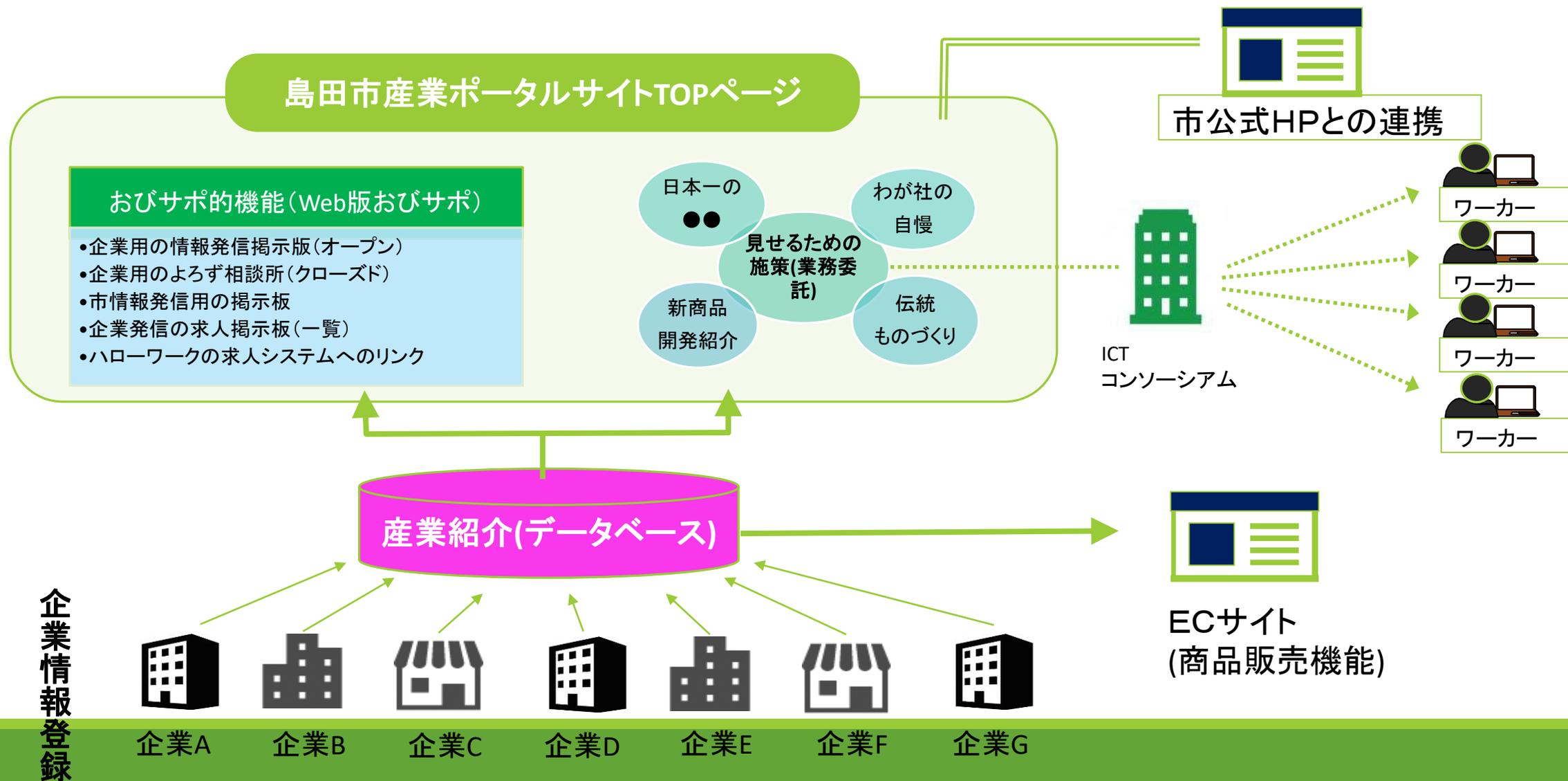


高齢者等がデジタル活用の恩恵を受け、いきいきと豊かな生活を送ることができるよう、「デジタルデバイドの解消」と「デジタルリテラシーの向上」のためのスマートフォン利活用講座を実施しています。

令和2年度から開始し、これまで、延べ260回、1,794人の方に参加していただいています。

	実施主体	回数	人数
令和2年度 (10月～3月)	デジタル活用支援員	114	561
	ソフトバンク	6	76
令和3年度 (4月～2月末)	デジタル活用支援員	130	1,068
	ソフトバンク	10	89
合計		260	1,794

## 4: 取組事例2 産業支援サイト構築事業



## 4: 取組事例3 子育て支援等プラットフォーム構築事業

しまいく+とは

登録する

ログインする

**利用の流れ**

初めてご利用の方は利用届の提出が必要です。担当窓口が島田市電子申請サービスにてお手続きをお願いします。

しまいく

お知らせ

お知らせをもっと見る

メニュー

申請

相談

子どもの成長記録

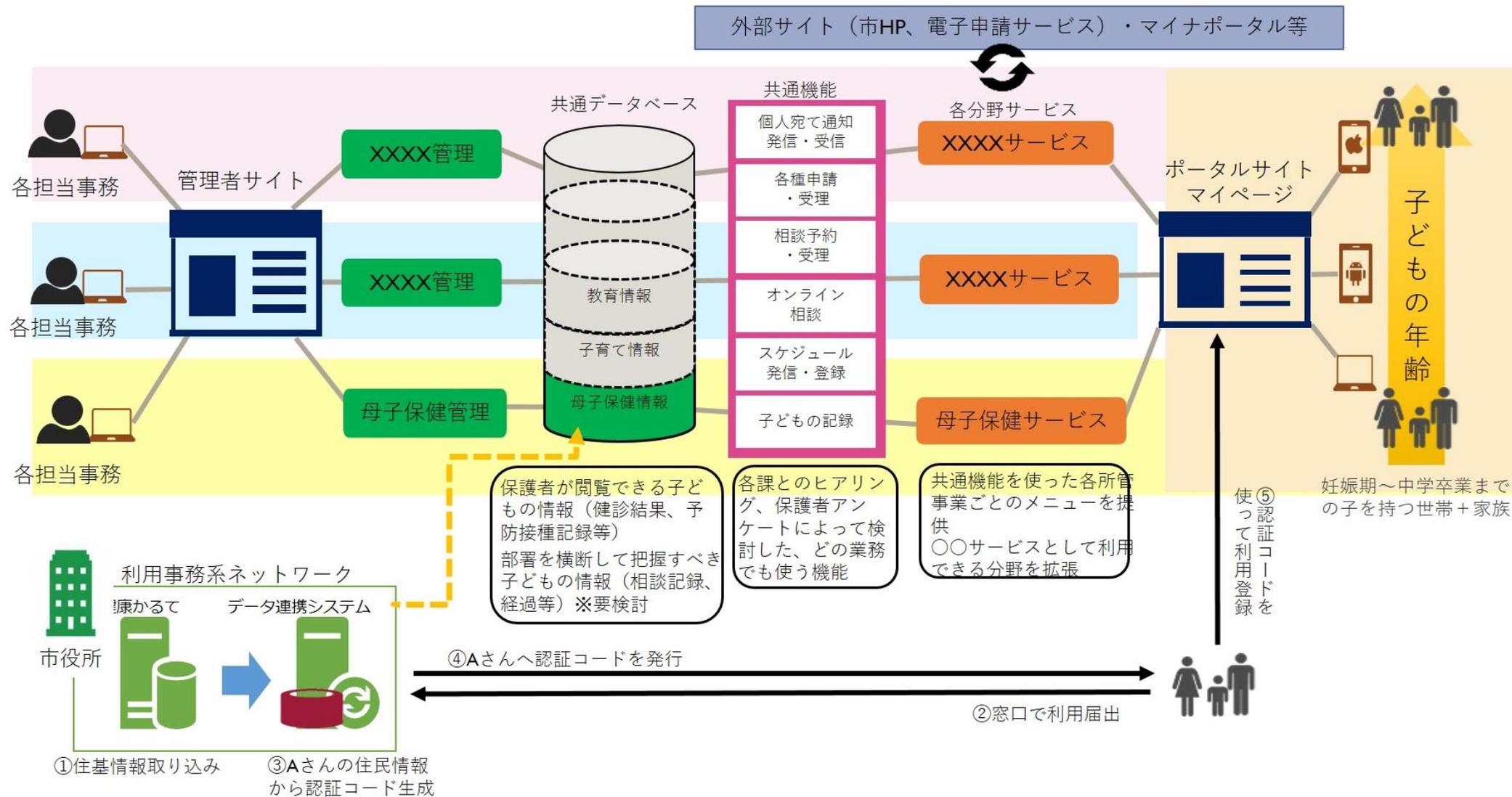
予定を登録する

2022年3月

日	月	火	水	木	金	土
27	28	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

- ・保護者と行政との接点の部分にデジタル技術を活用し、保護者の利便性を向上させることを目的としたオンラインサービス。
- ・利用者はいつでもスマートフォン等からアクセスでき、個人に対するお知らせの受取（プッシュ通知）やお子様の年齢や状況に応じた申請手続き、相談予約などを行うことができます。
- ・令和3年度は、乳幼児健診や予防接種など母子保健事業に関するサービスの運用を3月14日から開始。
- ・令和4年度には、児童手当や育児サポーターの訪問予約など子育て支援に関するサービスを追加予定です。

## 4: 取組事例3 子育て支援等プラットフォーム構築事業



島田市DX推進計画

検索